World Agility Open Championships スタートルール
ハンドラーがスタートラインに向かう→スタート係がスタート・ハードルの前に立っている→ジャッジとタイマーの準備が出来たら、電子タイマーシステムがスタートのシグナル（「レディー」「ゴー」またはブザー音）を発する→スタート係がスタート・ハードル前から離れる→ハンドラーは、スタートのシグナルが発せられてから 30 秒以内にスタートしなければならない。30 秒を過ぎた場合は失格となる。

・スタートラインで犬から外したリードは、犬の前に置いてはならない。犬の前にリードを置いた場合は、リング内で犬を補助するために使用したとみなし、失格となる。犬のリードは犬の後ろか横に置かなければならない。
・リードは、犬がスタートラインを離れたら、リード係が回収し、リンク出口の指定されたボックス内に置く。ハンドラーだけがリードをこのボックスの中から取り出すことが出来る。ハンドラー以外の他の人が、犬がアリーナを出る前に、ボックスの中からリードを取り出した場合は、失格となる。
・ハンドラーがスタートラインで犬からリードアウトすることを選択した場合、一旦最初の障害の横を通り過ぎたら、犬のもとに戻ることはできない。最初の障害の横を過ぎて戻った場合は、５点の減点となる。最初の障害の横を過ぎて戻り、犬に触れた場合は失格となる。
・スタートのシグナルが鳴る前に障害を通った場合は失格となる。
・犬はスタートラインの手前側からスタートしなければならない。犬をスタートラインを越えた位置に待たせてスタートした場合は、５点の減点となる。
・犬が障害を通らずに最初の障害の横を通り過ぎた場合、あるいは通過中に拒絶した場合（例えば、最初のハードルの下をくぐる、バーではなくウイングを飛ぶ、等）は、スタートラインのセンサーが作動したかどうかに関わらず、ジャンピング、アジリティ、スピードステークスにおいては、拒絶とされ、５点の減点となる。ギャンブラーとスヌーカーにおいては、犬の獲得したスコアから５点が引かれる。もしスタートラインのセンサーが作動しなかった場合は、ビデオ審査により正確な走行タイムを計測する。ハンドラーは、ジャッジが指定した方向から、犬が正しく障害を通過するようやり直さなければならない。やり直さなかった場合は失格となる。
・犬が最初の障害を拒絶した後、ハンドラーが犬に触れずに犬をスタートに待たせ直した場合は、拒絶となり、さらに５点の減点となる。もしハンドラーが犬に触れて待たせ直した場合、失格となる。
・犬は、スタートハードルにおいては、顕著に躊躇した場合でも拒絶とはならない。スターとハードルを通り過ぎたり、一旦スタートハードルに向かった後、向きを変えて離れた場合に拒絶と審査される。このような拒絶が起きたと審査されたら、犬がスタートしたとみなされ、その後は通常の審査が行われる。
・ハンドラーは、前の犬が一旦フィニッシュラインを越えたら、リンク内に入場できるよう待機していなければ、遅れたとみなされ、走ることができない（失格）。